Q & A

Q 日頃から気を付けたほうがよいことは何ですか？



A 庭の手入れや掃除をする時は、厚手の手袋（軍手やビニール製の手袋）や靴下を着用してください。屋外に出しっぱなしにしている靴やサンダルを履く時は、中にクモが入っていないか確認しましょう。

Q もし、咬まれてしまった時はどうすればいいですか？



A 咬まれた部分を温水や水でよく洗い流し、できるだけ早く病院で医師の診察を受けてください。治療を受ける際には、クモを殺虫スプレー等で殺して持参すると原因を特定できるので、適切な治療につながります。（足で完全にふみつぶした場合は、クモの確認が困難となります。）小児や高齢者は症状が重くなる恐れがあるので、必ず病院で医師の診察を受けてください。

Q セアカゴケグモに関する情報はどこでわかりますか？

A 大分市ホームページ「セアカゴケグモにご注意ください！」

大分市　ゴケグモ　検索

環境省ホームページ　環境省　ゴケグモ　検索

Q 付近一帯に薬剤をまく方法で、駆除できますか？



A 本市の調査研究で、セアカゴケグモの幼体は、ハサミムシ、ゲジ等に捕食されていることが確認されています。噴霧器などで、薬剤を大量にまくと、セアカゴケグモ以外の生物も殺してしまいますので、生態系のバランスがくずれ、セアカゴケグモが増えてしまう危険性があります。

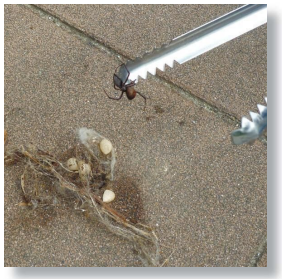
Q クモを見つけたら、どんなクモでも駆除した方がよいですか？

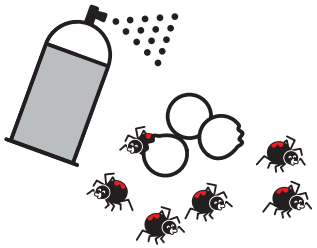
A ほとんどのクモ類は害虫を捕食する益虫なので、有害なゴケグモ類以外は、むやみに駆除しないほうがよいでしょう。

Q セアカゴケグモに関する相談はどこにすればいいですか？

A 大分市環境政策課　自然環境担当班　　TEL：097-537-5758

（制作・提供元）福岡市保健医療局生活衛生部生活衛生課











どうしたらいいの？

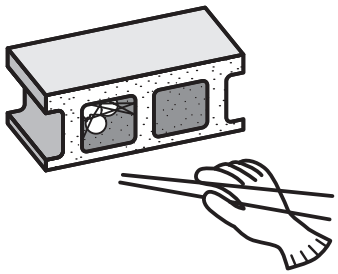
セアカゴケグモの駆除方法

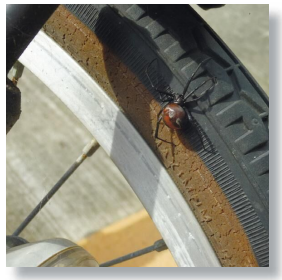
自主的な駆除をお願いします！











大分市

はじめに

セアカゴケグモは、もともと日本に生息していなかった毒グモで、特定外来生物※に指定されています。大分市内では平成 27 年に初めて発見されました。

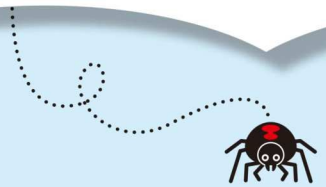
大分市ではセアカゴケグモによる被害防止のために、啓発・広報活動をはじめ、生息域拡大防止への取り組みなどを進めているところです。

しかし、セアカゴケグモは繁殖力が非常に強くどこで見つかってもおかしくない状況です。

セアカゴケグモによる咬傷(こうしょう)事故を防ぐためには、行政による調査・駆除だけではなく、みなさまによる自主的な駆除活動が重要となってきています。

このパンフレットでは、セアカゴケグモがよく発見される場所や駆除方法等についてまとめております。ご一読いただき、咬傷(こうしょう)事故を未然に防止するため、日頃の駆除にお役立てください。

※ 特定外来生物
「特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法）」で指定された海外から日本に持ち込まれた外来の生物です。
この法律は、外来種による生態系、農林水産業、人の生命・身体への被害を防止するために制定され、平成17年から施行されています。既に野外に定着している特定外来生物については必要に応じて防除をすること等の対策を推進することとなっています。また、飼育、生きたままの移動（運搬）等の禁止を定めています。



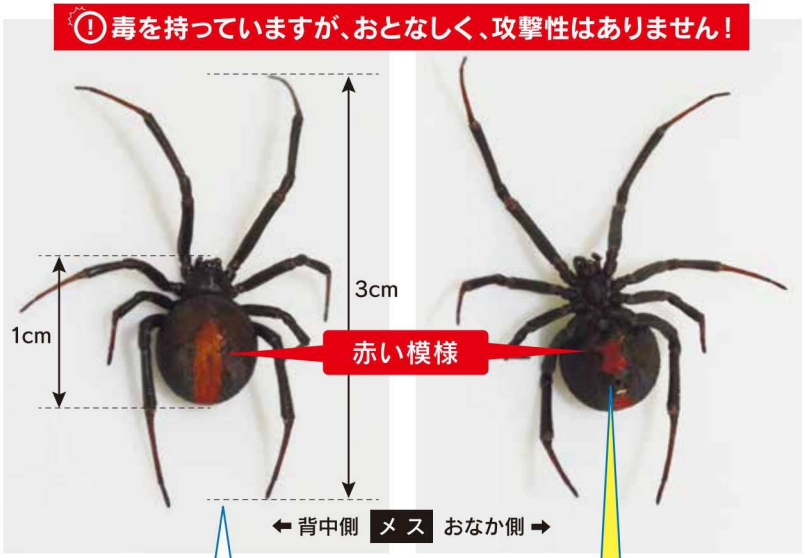
目　次

セアカゴケグモの特徴 …… 1 ページ
これはセアカゴケグモ？ …… 3 ページ
セアカゴケグモの生息場所 …… 4 ページ
セアカゴケグモの駆除方法 …… 7 ページ
Q&A …… 9 ページ



セアカゴケグモ（メス）の特徴

毒を持っていますが、おとなしく、攻撃性はありません！



成体（大人）の体長（胴の長さ）は**約1cm**
足の長さも含めると**約3～4cm**

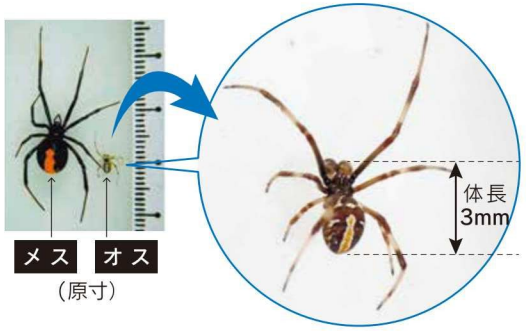
おなか側の赤い模様は
砂時計型

- 足が8本ある
- 全体がつやのある黒色
- 体が二つに分かれている
- おしり側が丸くて大きい



一円玉との大きさの比較（原寸）





オスや若いメスは体が茶色で、模様は白～オレンジ色です。
幼体は体が白っぽく、茶色の点の模様です。
おなか側の砂時計模様は幼体もオスもあります。



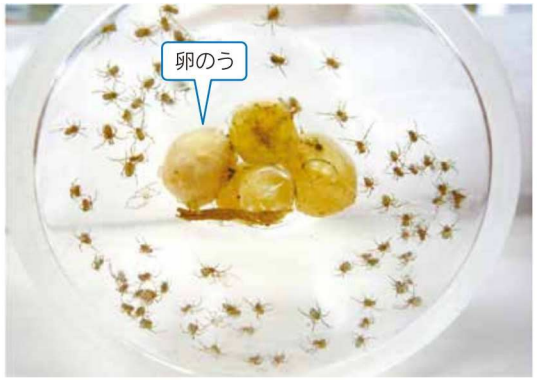
▲窓枠の下



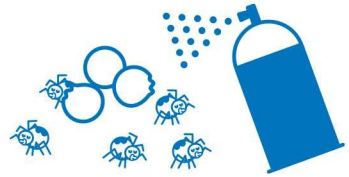
▲屋外機器のボックスの下

「卵のう」という卵の入ったふくろを作ります。

「卵のう」も駆除しないと、どんどん増えてしまいます！



▲ふ化後1日



1つの「卵のう」の中には卵が100個くらい入っています。
約20日で卵からふ化します。

ゴケグモ類は不規則な網目の巣を張ります。糸は非常に強い粘着力があります。



これはセアカゴケグモ？

（ハイイロゴケグモ写真：環境省提供）

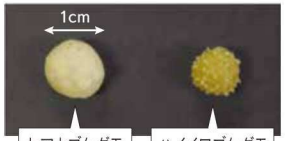
ハイイロゴケグモ



セアカゴケグモと同じような性質・毒性を持つ外来のクモで、**おなか側に砂時計型の模様があります。**
福岡市内での確認は数回しかありません。



ハイイロゴケグモと卵のう▲



セアカゴケグモの卵のうは、球状ですが、ハイイロゴケグモの卵のうは、こんぺいとうのような形をしています。

オオヒメグモ

ハイイロゴケグモによく間違えられます！



ハイイロゴケグモによく似ていますが、**おなか側に砂時計型の模様がありません。**また、在来種で毒性はありません。
卵のうは、セアカゴケグモとよく似ていて見分けが困難です。

そのほかの間違えやすいクモとムシ



ジョロウグモ
おなか側に赤い模様があります。背中側には赤い模様はありません。セアカゴケグモよりも大きく、メスは体長1.5～2.5cm位です。人の目線よりも高い位置に巣を張ります。人に害はありません。



ヨコヅナサシガメ（幼虫）
カメムシのなかまの外来生物で、幼虫の腹部は赤いため、セアカゴケグモと間違うことがありますが、昆虫なので足の数が6本です。ただ、**不用意に触れると刺されることがあるので注意が必要です。**

セアカゴケグモの生息場所

- 日当たりが良く、暖かいところ
- 昆虫などの餌が豊富にあるところ
- 巣を張るのに適当なすき間があるところ





雨水側溝等のグレーチング

フェンスのすき間











ブロックの穴





雨水側溝の
コンクリート
ふた



擁壁などの
水抜き穴





石積壁の
隙間









石段・
窓の出っ張り

こんなところも
要チェック

巣を張りそうな物は、
長期間放置しないようにしましょう。





工作物の
下



古タイヤ
の中



植木鉢の
ふち



建物の壁
の隅



台座と地面の
すき間



工作物の
足回り

屋外にある
受水槽などの裏



自動販売機
の下





のぼり立て
の下



ドアの段差



外にずっと
置いてある
履物の中



ベンチの裏



セアカゴケグモの駆除方法

★ 準備するもの



手袋

咬傷事故を防ぐため、必ず手袋をはめましょう。万が一に咬まれても、セアカゴケグモの牙が皮膚にまでとどきません。



殺虫スプレー(ピレスロイド系)

成虫、巣、卵のうに噴射します。ピレスロイド系殺虫剤であれば、クモ用でなくても効果があります。



長い棒、割りばしなど

長いものは、穴の中などの巣をかき出すために使用します。短いものは卵のうをつまむのにも使用します。



ビニール袋

卵のうの駆除に使用します。最後にふみつぶしますので、確認しやすいように透明なものを使用します。

① 巣を探しましょう！

※作業時は、必ず、手袋やくつ下を着用してください。

地面近くに、かたい糸(粘り気の強い)で不規則な網目の巣を張っています。落ち葉や虫の死がいが引っ付いていることが多いです。

※形が似ているオオヒメグモ(毒なし)の巣は、落ち葉や虫の死がいがあまりついていません。





② 巣を見つけたら巣全体にスプレーを吹きかけます！

写真①のような穴の奥などは、噴射力の強いスプレー（ジェットタイプ）が有効です。写真②のような場所で噴射力の強いスプレーを使用すると、クモ自体が、吹き飛んでしまうことがあるので注意が必要です。





③ 出てきたセアカゴケグモをふみつぶす！

飛び出してきたら、さらにスプレーを噴射し、弱ったのを確認してふみつぶします。







④ 長めの棒で巣を取り出します。

かき出しやすい棒であればなんでも可。
（太めの針金を加工したものなど）





⑤ 卵のうを、割りばしなどでつまみ、巣からビニール袋に入れます。



⑥ ビニール袋の中に殺虫スプレーを噴射した後に、ふみつぶします。

スプレーが顔にかからないように注意しましょう。最後は念のためふみつぶします。



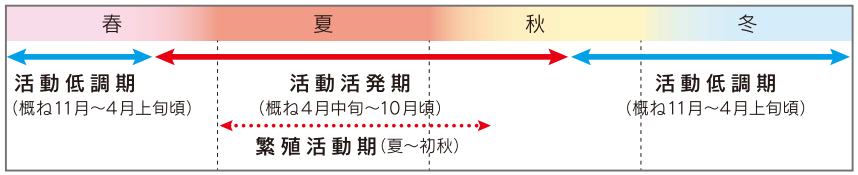




⑦ 卵のうを駆除したビニール袋は、よく縛ってゴミとして捨てましょう！

駆除する時期について

セアカゴケグモの活動



※ 富山医科薬科大学と大阪府公衆衛生研究所の共同研究報告及び国立環境研究所の資料から作成

- 活動活発期(気温が20℃以上)に、棲みつきやすい場所を一度は点検しましょう。
- 過去に生息しているのが確認された場所やその周辺は、2～3週間後に再点検しましょう。
- さらに活動低調期に入る前(11月頃)にも一度点検すると効果的です。

※ 熱帯・亜熱帯性のクモですが、5～10℃程度の低い気温にも耐えられることが確認されています。